

●経済工学研究会主催によるシンポジウム
〈TPP(環太平洋経済連携)・食の安全・食料輸入〉
が開催されました。

2011年 5月28日(土) 13:30~16:30
拓殖大学文京キャンパス C館 201教室にて
司会は、吉野 文雄 (拓殖大学)
発表は、
○藤川 清史(名古屋大学)
「食料自給率とは何か」
○茂木 創(拓殖大学)
「TPPがもたらす群馬県下の農業(酪農)と
県民生活への影響」
○立花 亨(拓殖大学)
「小麦の『自給』に固執するサウジアラビア」

その後の討論には、
秋吉 祐子(聖学院大学)
渡邊 隆俊(愛知学院大学)
木村 正信(金沢星稜大学)
をお迎えして盛会裏に終了しました。

●経済工学研究会より
経済工学研究会に所属する
茂木創 (拓殖大学准教授・研究代表)
立花亨 (拓殖大学教授・研究分担者)
木村正信 (金沢星稜大学准教授・研究分担者)
の3名が文部科学省科学研究費助成事業「平成23年度挑戦的萌芽研究」に新規採択されました。
テーマは、

「イスラム金融を通じたアジア・中東産油国間における経済関係の変化と日本経済への影響」
で研究期間は3年間です。今後、研究活動によって得られた成果を、年次研究大会やシンポジウム等で公表していくこととなります。

尚、現在、経済工学研究会では、日本学術振興会科学研究費助成事業
「グローバル化下の食の安全と食料自由化問題」(吉野文雄拓殖大学教授・研究代表)
が最終年度を迎えており、今年度は更にこの研究を発展すべく継続的な研究が行われております。

今後は、上記の「食のグローバル化」のような、所属する研究者の共通の関心を軸とした
研究を進めていく一方で、いくつかのユニットを組んで特定の問題をさらに深く掘り下げていく
ことも同時に行っていきたいと考えております。

学会員の皆様には何卒よろしくご指導、ご高配を賜りたく存じます。

(経済工学研究会代表 茂木 創)

■ 理事会のお知らせ

日 時： 2011年（平成23年）6月4日（土）
13:00～13:50
場 所： 拓殖大学 文京キャンパス
C館 606号室（総会と異なります）

■ 総会のお知らせ

日 時： 2011年（平成23年）6月4日（土）14:00～17:00
場 所： 拓殖大学 文京キャンパス
C館 604号室

■ JAMES-MESPAK 土壌改良共同研究計画打ち合わせ

下記の通りパキスタンにおけるアルカリ土壌改良共同研究計画に関する打ち合わせを行います。
ご関心のある方々の参加をお願いいたします。

議 題： JICA 応募スキーム検討、
予備調査計画など。

日 時： 6月29日（水）16:00～18:00
場 所： JICA 地球ひろば、
渋谷区広尾4-2-24
（地下鉄東京メトロ日比谷線、広尾駅下車徒歩1～2分）
連 絡 先： 北見辰男 kitamictc@kxd.biglobe.ne.jp

■ JAMES 合同研究会開催案内
（マクロエンジ・プロジェクト、未利用資源、水資源）

下記の要領で合同研究会（マクロエンジ・プロジェクト、未利用資源、水資源）を開催いたします。皆様の参加をお待ちいたします。

話 題： 日本の電力事情
話題提供者： 木本研一理事
形 式： 自由討論
日 時： 平成23年6月23日（木）17:30～19:00
場 所： 横浜ランドマークタワー25F、
ビジネスサポートフロア会議室
（会議室番号は、25F 受付フロアのモニターに掲示します）
連 絡 先： 角田晋也 kakutas@jamstec.go.jp,
木本研一 astec@fa.mbn.or.jp,
北見辰男 kitamictc@kxd.biglobe.ne.jp

■ 合同研究会（地球環境研究会と文明システム研究会）のついでのお知らせ

○日 時： 6月18日（土）15:00～19:00

(確保時間、実質は16:00~18:00)

場 所： JICA 地球ひろば
電話番号：03-3400-7717

ファックス：03-3400-7394

(渋谷区広尾4-2-24)

4階 MR② プロジェクター確保

地球ひろばへの届け出議題：

地球環境問題の議論

○ 日 時： 7月16日(土)15:00~19:00 (確保時間、実質は16:00~18:00)

場 所： JICA 地球ひろば (渋谷区広尾4-2-24)

4階 MR① プロジェクター確保

地球ひろばへの届け出議題：地球環境問題の議論

○ 日 時： 8月20日(土)15:00~19:00 (確保時間、実質は16:00~18:00)

場 所： JICA 地球ひろば (渋谷区広尾4-2-24)

4階 MR②

※プロジェクター確保不可

(部屋を変えても、予約で満杯、確保不能)

地球ひろばへの届け出議題：今のところなし

ミーチングルーム (MR①~③) の使用は、カウンターノートに届けでのみ。

プロジェクターなどの物品を使用する時は、物品借用願を提出する必要。

そこには、部屋の使用目的の明記が求められます。8月は、プロジェクターは既に予約でいっぱい、使用不可。よって、物品借用願を提出しませんから、

「地球ひろばへの届け出議題：今のところなし」

議論すべき事は色々あると思います。みなさん、色々と考えておいてください。

私の方は、昨年4月に、屋根に太陽電池を取り付け、風呂をエコキュートに変更

しました。過去一年の省エネ効果と経済的メリットなどを必要とあれば提供できます。

(代表 谷本光生)

■ウォーターフロント研究会 代表 沼尻重男

○隅田川大学公開講座セミナー

テ ー マ：「石を架ける～石橋文化を築いた人びと」(映像と講演)

第34回日本産業映画・ビデオコンクール大賞他多数受賞

講 師： 桂 俊太郎氏 (株)文化工房

日 時： 6月25日(土)

時 間： 15:00~18:00

参 加 費： 500円

場 所： 大黒家倶楽部(浅草・大黒家別館4階)

参加希望者の連絡・問合せ先

糸井 守 TEL0422-45-0352

FAX0422-45-0353

携帯電話 080-5488-1236

E-mail: mi1234toi@ahoo.co.jp

<会員の皆様>

本マクロ学会通信は、次号7月号 (Vol. 24No. 244) は、2011年7月1日発行予定です。
メールアドレスをお持ちで、事務局にメールアドレスを登録されていない会員の方は、是非事務局までお知らせください。

(メールを使用されていない方には、これまで通り送付対応いたします。)

◆◆◆ 発行・編集 日本マクロエンジニアリング学会事務局 ◆◆◆

〒112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14
拓殖大学海外事情研究所
吉野研究室 (担当: 齊藤)
Tel/Fax 03-3947-2323
E-mail: fyoshino@ner.takushoku-u.ac.jp
URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/james2/>
本通信の他への無断転載を禁じます。

●●● マクロ学会だより ●●●

** 日本学術会議ニュース・メール **

■ 公開シンポジウム「口蹄疫および鳥インフルエンザ発生の状況把握とその行方」
の開催について (ご案内) ■

◆日 時: 平成23年6月8日 (水) 13:00~17:00

◆場 所: 筑波大学総合研究棟A110号室
(茨城県つくば市天王台1-1-1)

◆主 催:

日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会、農学委員会地域総合農学分科会、
日本沙漠学会

◆開催趣旨: 現在、韓国で進行中の口蹄疫は牛豚中心に230万頭が殺処分されている。これは昨年春夏季の宮崎県での殺処分29万頭を遙かに超えており、いつ日本に伝播するか懸念される状況にある。米国農務省の長年の調査では口蹄疫の伝播には風・渡り鳥の関与が22%を占めており無視できない数値である。2010年2月25日付け日本学術会議「報告」“黄砂・越境大気汚染物質の地球規模循環の解明とその影響対策”に家畜口蹄疫・鳥インフルエンザ・麦さび病等の記述があり、日本国内での口蹄疫との予見的関連性が推測された。一方、鳥インフルエンザは、鳥根県安来市や宮崎県宮崎市のニワトリでの発生、鳥取県米子市のコハクチョウでの発生、鹿児島県出水市のツルでの発生があり、現在大きな社会的問題になっており、鶏卵の値上がりも起こっている。これら口蹄疫・鳥インフルエンザの感染経路の把握、黄砂、風、鳥との関連性および今後の方向性を論議することによって、国民への情報提供とともに幾分かの安全・安心の推進ならびに今後の防疫と科学的研究の発展に資する。

◆次 第:

13:00~13:10

開会の挨拶: 真木太一

(日本学術会議会員、農学委員会委員長、農業生産環境工学分科会委員長、

日本沙漠学会会長、筑波大学北アフリカ研究センター)
座長：森尾貴広（筑波大学北アフリカ研究センター）

13:10～13:50

- (1) 国内採取黄砂アレルゲン物質の解析
山田パリーダ（筑波大学北アフリカ研究センター）
八田珠郎（(独)国際農林水産業研究センター）
杜 明遠（(独)農業環境技術研究所）
脇水健次（九州大学）
真木太一（筑波大学北アフリカ研究センター）
磯田博子（筑波大学北アフリカ研究センター）

13:50～14:30

- (2) 黄砂構成鉱物とその生成環境
八田珠郎・根本清子・越後拓也
(独)国際農林水産業研究センター)
脇水健次（九州大学）
杜 明遠（(独)農業環境技術研究所）
山田パリーダ・磯田博子・真木太一
（筑波大学北アフリカ研究センター）

休憩（14:30～14:50）

座長：早川誠而
（日本学術会議連携会員、山口大学名誉教授）

14:50～15:30

- (3) 黄砂と口蹄疫・麦さび病等の病原菌の輸送について
真木太一・磯田博子・森尾貴広・山田パリーダ
（筑波大学北アフリカ研究センター）
八田珠郎（(独)国際農林水産業研究センター）
杜 明遠（(独)農業環境技術研究所）
脇水健次（九州大学）

座長：大政謙次（日本学術会議連携会員、
東京大学大学院農学生命科学研究科）

15:30～16:10

- (4) 国内における高病原性鳥インフルエンザの発生
西藤岳彦（(独)動物衛生研究所 人獣感染症研究チーム）

16:10～16:50

- (5) タイで分離された高病原性鳥インフルエンザの病原性解析
林 豪士（(独)動物衛生研究所
タイ - 日本人獣共通感染症共同研究センター）

16:50～17:00

閉会の挨拶：橋本 康（日本学術会議連携会員、

農業生産環境工学分科会副委員長、愛媛大学名誉教授)

◆参加無料（講演要旨集有料）

◆申込み：申込者の連絡先住所、所属、氏名、電話番号を記載、E-mail 等にて、120 名で締切。

◆申込み・連絡先：

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学北アフリカ研究センター 真木太一

E-mail : maki.taichi.fe@u.tsukuba.ac.jp

詳細については、以下のURL（日本学術会議HP）を御覧ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf/115-s-2-2.pdf>

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局第二部担当 相原

Tel : 03-3403-1091